

令和元年7月18日
鉄道局都市鉄道政策課

三大都市圏で輸送人員は微増、東京圏混雑率は横ばい

～都市鉄道の混雑率調査結果を公表～

本調査は、通勤通学時間帯の鉄道の混雑状況を把握するため、毎年度実施しているものです。昨年度同様、東京圏の主要31路線等の路線についてはピークサイド各1時間の混雑率を公表し、オフピーク通勤の推進を図ります。

都市鉄道の混雑率^(注1)については、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」（平成28年4月20日交通政策審議会第198号答申）において、引き続き、ピーク時における主要31区間の平均混雑率を150%にするとともに、ピーク時における個別路線の混雑率を180%以下にすることを目指すこととされています。

また、同答申において「朝のピーク時のみならず、ピークサイド等の混雑状況について、「見える化」の検討を鉄道事業者において進めることが重要である」と示されたことを受け、昨年度同様、東京圏の主要31路線等の路線について、ピークサイド^(注2)の混雑率も公表します。

（注1）混雑率：最混雑時間帯1時間の平均 （注2）ピークサイド：最混雑時間帯の前後の1時間の平均

【三大都市圏主要区間の平均混雑率】※（ ）内は昨年度の混雑率

東京圏：163% (163%) 大阪圏：126% (125%) 名古屋圏：132% (131%)

【目標混雑率180%を超えている個別路線（11路線）】※（ ）内は昨年度の混雑率

- ・東京地下鉄東西線：199% (199%)
- ・JR東日本南武線：184% (189%)
- ・JR東日本横須賀線：197% (196%)
- ・JR東日本埼京線：183% (185%)
- ・JR東日本総武緩行線：196% (197%)
- ・JR東日本中央快速線：182% (184%)
- ・JR東日本東海道線：191% (187%)
- ・東急田園都市線：182% (185%)
- ・東京都日暮里舎人ライナー：189% (187%)
- ・JR東日本総武快速線：181% (181%)
- ・JR東日本京浜東北線：185% (186%)

（添付資料：平成30（2018）年度実績）

- ・資料1：三大都市圏の主要区間の平均混雑率の推移（2018）
- ・資料2：三大都市圏の主要区間の混雑率（2018）
- ・資料3：最混雑区間における混雑率（2018）
- ・資料4：東京圏における主要区間等の混雑の見える化（2018）

連絡先：鉄道局都市鉄道政策課 秋元、竹花
代表：03-5253-8111（内線：40452、40453）
直通：03-5253-8535 FAX：03-5253-1635